

課目名	化粧品化学		
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	講義
実施方針	<p>化粧品は、理容・美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身に付けることが重要であることを認識させること。理容・美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、化粧品の正確な科学的知識と合理的な取扱方法を習熟させ、あわせて、化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること。</p>		
授業内容と計画		時間	内容
		1	化粧品の社会意義と品質特性
		1	化粧品の規則
		1	化粧品の安全性と取り扱い上の注意
		1	化粧品の安全性 第1章 まとめテスト
		1	水性原料
		2	油性原料
		2	界面活性剤
		2	高分子化合物
		2	色材
		1	香料
		2	その他の配合成分 第2章 まとめテスト
		2	皮膚清浄用化粧品
		2	化粧水
		2	クリーム・乳液
		2	その他の基礎化粧品 第3章まとめテスト
		2	メイクアップ用化粧品の種類と剤形
		2	ベースメイクアップ化粧品
		2	ポイントメイクアップ化粧品 第4章 まとめテスト
		2	シャンプー剤
		2	スタイリング剤
		3	パーマ剤
		3	ヘアカラー剤
		2	育毛剤 第5章まとめテスト
		2	芳香製品
		2	特殊化粧品 第6章まとめテスト
		2	第1章の問題演習及び解説
		2	第2章の問題演習及び解説(1)
	2	第2章の問題演習及び解説(2)	
	2	第3章の問題演習及び解説	
	2	第5章の問題演習及び解説(1)	
	2	第5章の問題演習及び解説(2)	
	2	第6章の問題演習及び解説	
評価方法と基準	<p>出席率85%以上、授業への取り組み評価試験で60点以上、60点未満は再追試</p>		